

九歴たより

No.56
2022.10

九歴 生誕 50年



令和4年度特別展

みやこ

「京都平野と

とよのくに

豊国の古代」

令和4年10月8日(土)~12月4日(日) 開催

京都平野は後期旧石器時代の約3万年前から人類が住むようになり、狩猟を中心とした生活を営んでいました。すでにこの時代から京都平野は、九州地方の北東部に位置することから、瀬戸内海を介し、本州などからの影響を受けながら文化を発展させてきました。

縄文時代になっても、他地方との文化交流は、その多くが豊前地域を窓口として行われ、東日本で発達した文化の影響を幾度となく受けて発展してきました。すでに後の時代にもつながる地域的な特色が、旧石器時代、縄文時代からみられたのです。

弥生時代には水稲耕作に適した自然環境を背景に、急激に開発が進み、行橋市下稗田遺跡のような大規模集落も営まれました。稲作文化の受容とともに、朝鮮半島の人びとも交流するようになり、銅矛や銅鏡といった文物も朝鮮半島からもたらされました。

引き続き、古墳時代の京都平野は瀬戸内海を通じた近畿地方との海上交通における九州東岸の玄関口でした。古墳時代の京都平野や宇佐地域の豪族は、九州最古級の定型化した前方後円墳である、荊田町石塚山古墳や宇佐市赤塚古墳が築かれたように、倭王権と早くから結びつき、後々まで緊密な関係を持ちました。6世紀以降、京都平野の有力な豪族は、倭王権から豊国造という地方官に任じられ、京都平野を拠点として豊前北部を統括したとみられます。

さらに豊前地域には、朝鮮半島からの渡来人も多く居住して先進的な技術をもたらすとともに、飛鳥時代には朝鮮系瓦が甍を飾った寺院が多く造営され、仏教文化が花開きます。その発展の上に、奈良時代には鎮護国家の寺として、京都平野に豊前国分寺も建立されました。豊前地域の仏教文化は、全国の神々に先駆けて神仏習合をはたした宇佐八幡宮を生み出し、宇佐八幡宮と神宮寺の弥勒寺は、京都平野にも宇原荘・菊野荘・津隈荘などの荘園を広げて行きます。

律令国家の成立により、豊国と呼ばれていた現在の福岡県東部と大分県にあたる地域は豊前国と豊後国に分かれたとされます。京都平野には豊前国府が置かれ、引き続き、豊前国の中心として繁栄します。豊前国府の近くには豊前国草野津という九州東岸の重要な港も築かれ、瀬戸内海を通じた平城京・平安京との海上交通の拠点として機能しました。

京都平野の原始・古代を概観することにより、古来、京都平野を中心とする豊前地域が、朝鮮半島、九州北部、近畿地方との交流の拠点として繁栄し、日本の古代文化形成の上で大きな役割をはたしたことに思いをはせることができます。

左：彩色壺 みやこ町大熊条里遺跡出土 弥生時代・紀元前3世紀 みやこ町教育委員会所蔵

右：単弁八弁蓮華文軒丸瓦 行橋市椿市廃寺出土 飛鳥～奈良時代・7～8世紀 行橋市教育委員会所蔵

いち推しに推し

特別展担当学芸員の

石塚山古墳出土土鏡7枚すべて展示します

飾りが残るのが珍しい!



右：重要文化財金銅立飾付眉庇付冑・横矧板鋸留短甲 行橋市稲童21号墳出土 古墳時代・5世紀 行橋市教育委員会所蔵

左：重要文化財 三角縁獣文帯三神三獸鏡 古墳時代・3世紀 菟田町宇原神社所蔵

おもな特別展関連イベント

- 10月8日(土) 第7回九歴講座「京都平野の飛鳥・奈良時代」
講師:酒井芳司(九州歴史資料館)
- 10月28日(金) 第5回夕べのギャラリートーク「特別展1」
講師:進村真之(九州歴史資料館)
- 10月30日(日) 文化財めぐり「みやこ古墳日和」
講師:吉村靖徳(九州歴史資料館)
- 11月6日(日) 特別展記念講演会「古代の豊前と渡来人」
講師:亀田修一氏(岡山理科大学名誉教授)
- 11月12日(土) 第8回九歴講座「京都平野の古墳時代」
講師:山口裕平氏(行橋市教育委員会)
- 11月25日(金) 第6回夕べのギャラリートーク「特別展2」
講師:酒井芳司(九州歴史資料館)

古代史研究フォーラム 『古墳が語る日本創成の風景』

日時：令和4年11月23日(水・祝)
場所：アクロス福岡イベントホール
福岡市中央区天神1-1-1
日程：13:00~16:20(12:00受付)
第1幕「世界から見た日本の古墳時代」
松木武彦氏(国立歴史民俗博物館)
「福岡の古墳とその魅力」
吉村靖徳(九州歴史資料館)
第2幕トークセッション
「福岡の古墳の魅力を語る」
要申し込み 定員450名
申し込み先：古代史フォーラム運営事務局
(TSPプラス株式会社)
電話：092-627-3200



九歴の新しい取り組み 古代史研究

九州歴史資料館では、これまでに、福岡県内の歴史に関するさまざまな調査研究に取り組み、多くの成果を蓄積してきました。今後はその経験と成果を活かして、福岡の古代史を今までと違った視点で読み解き、豊かな歴史像を構築することを目的として、新たな「古代史研究事業」に着手することとしました。

令和4年度から令和6年度までの3年間は、古代史研究の第1期事業として「筑紫君をめぐる古代史」をテーマに調査研究を進めます。調査研究の成果は、九州歴史資料館の特別展や動画制作、フォーラム等をとおして広く紹介してまいります。

九歴名品探訪
Vol.15

さまざまな骨壺! 太宰府市金光寺跡出土【福岡県指定文化財】

金光寺は観世音寺の49ある子院のひとつと推定されています。発掘調査により13世紀後半から16世紀にかけての遺跡で、建物6棟、園池、墓所、火葬所などが発見され、出土遺物には鬼瓦、土製地蔵菩薩像、応永四年(1397)を刻する宝篋印塔があり、右の骨壺も見つかりました。

1は中国の南方産の褐色の釉薬が施された南宋末から元時代の壺になります。2は国産の須恵器質の備前焼の壺で鎌倉時代末から南北朝時代のもので、3はややくすんだ緑色の釉がかかった高麗時代末の小壺になります。4は非常に立派な黒い釉がかかった中国・磁州窯の元時代の壺で、四つの耳がついています。いずれも13世紀後半から14世紀にかけてのもので、国際色豊かな立派な骨壺で、貴人が使ったのでしょうか。福岡県指定文化財となっています。



ミクロの目で船原古墳の埋納を探る

福岡県古賀市にある船原古墳で、墳丘に隣接する土坑（遺物埋納坑）から豪華な馬具や武器、武具が発見されたのは平成 25 年 3 月のことでした。翌年から、当館と古賀市教育委員会が共同で出土遺物の科学的研究を開始しましたが、今も日夜、顕微鏡を覗き、元素分析するなど、科学の力を使って謎多き船原古墳の実態解明を目指しています。今回は、顕微鏡を使ったミクロの目から埋納の実態を探る研究をご紹介します。

船原古墳の研究では、土坑には馬具などをどのようにして埋納していたのか、という謎があります。単に土坑の中に置いていたのでしょうか。それとも何か飾ったりしていたのでしょうか。発掘現場で掘り出した時点では、なかなか見当が付きませんでした。

この謎に私たちは、馬具の裏側に残る、土砂にまみれた付着物に着目しました。この付着物を実体顕微鏡や電子顕微鏡でミクロに観察したところ、通常の遺跡では消失する、木材や繊維など有機物の痕跡が見つかりました。一例を示すと（写真 2）、馬具の上に織物があり、その上に木材が付着しています。これらは裏側にあるので、表裏、逆転して考えると、一番下に木材、その上に織物、そして馬具本体、という具合に重なっています。この様子から、馬具は織物で包み、それを木箱に入れた、あるいは、木箱の中に織物を敷いてから入れたと推測され、船原古墳では馬具を、土坑の中へ単に入れたのではなく、被葬者ゆかりの品として、織物を使うなど、丁寧に取り扱って埋納したと考えることができます。こうした研究は、副葬品が国宝である、奈良県藤ノ木古墳の調査でも行われ、石棺の中に色鮮やかな織物を敷いて被葬者を安置し、その上に織物を掛けた、という埋葬方法が克明に解明されるなど、古墳時代の葬送儀礼、習俗の解明、当時の衣裳などの復元に寄与しています。

船原古墳の研究では、今後、織物の組織に着目し、文様や縫製法、素材をより深く調査し、ミクロな目で埋納方法の実態解明、織物の精緻な復元を目指していきます。



写真1 観察の様子(杏葉)



写真2 見つかった木材と織物の痕跡(×20)

展示紹介 2022年度 下半期に開催される展覧会

企画展 発掘成果展2022「山国川流域の遺跡展(仮)」

会期：令和4年12月6日～令和5年3月26日 会場 第2展示室

企画展 「古墳時代の刀剣(仮)」

会期：令和5年1月18日～令和5年3月12日 会場 第1展示室

企画展 「尾形家三代—探幽に学んだ福岡藩御抱え絵師—」

会期：令和5年1月18日～令和5年3月12日 会場 第1展示室

パネル展「福岡鉄道遺産ものがたり8—日豊本線—」

会期：令和4年10月4日～令和4年12月4日 会場 文化情報広場

パネル展「筑紫・豊(前)の四つの窓 前編」

会期：令和4年12月6日～令和5年2月26日 会場 文化情報広場

パネル展「筑紫地区文化財写真展」

会期：令和5年2月28日～令和5年3月中旬 会場 文化情報広場



尾形家絵画資料

小方仁兵衛筆(蝦蟇仙人図)画稿

(県指定文化財、福岡県立美術館所蔵)

九州歴史資料館・分館行事予定

【令和4年10月～令和5年3月】

九州歴史資料館	行事・事業予定
展示	<p>企画展：12月6日(火)～3月26日(日)発掘成果展2022「山国川流域の遺跡展(仮)」 1月18日(火)～3月12日(日)企画展 「古墳時代の刀剣(仮)」 1月18日(火)～3月12日(日)企画展 「尾形家三代-探幽に学んだ福岡藩御抱え絵師-」</p> <p>パネル展：9月6日(火)～10月2日(日)パネル展「世界遺産・沖ノ島」 10月4日(火)～12月4日(日)「福岡鉄道遺産ものがたり8-日豊本線編-」 12月6日(火)～2月26日(日)「筑紫・豊(前)の四つの窓(前編)」 2月28日(火)～3月12日(日)筑紫地区文化財写真展 3月14日(火)～3月31日(金)保存科学成果展 「古賀市船原古墳遺物埋納坑調査の最前線 2022-2023」</p> <p>古代体験：毎週日曜日に、九歴ボランティアによる古代体験実施中(予約不要、有料・無料有り)</p>
講座・イベント	<p>九歴講座：毎月第2土曜日 定員80名 要申込 13時より開場 10月8日(土)九歴講座⑦ 「京都平野の飛鳥・奈良時代」 11月12日(土)九歴講座⑧ 「京都平野の古墳時代」 12月10日(土)九歴講座⑨ 「企画展関連(仮)」 1月14日(土)九歴講座⑩ 「高良玉垂宮の仏教美術(仮)」 2月11日(土)九歴講座⑪ 「尾形家三代の作品と画稿」 3月11日(土)九歴講座⑫ 「大宰府外郭線の調査成果(仮)」</p> <p>特別展開催記念講演会：11月6日(日)古代の豊前と渡来人 企画展開催記念講演会：1月21日(土)企画展「尾形家三代」関連(仮) タペのギャラリートーク：10月28日(金)特別展「京都平野と豊国の古代」1 11月25日(金)特別展「京都平野と豊国の古代」2 12月23日(金)発掘成果展 1月27日(金)企画展「尾形家三代」 2月24日(金)企画展「古墳時代の刀剣」</p> <p>イベント：10月2日(日)綿の摘み取り体験 10月29日(土)アクロスミュージアムコンサート in 九州歴史資料館 10月23日(日)特別展開催記念お茶会 11月15・22・29日(いずれも火曜日)大人組紐講座 11月13日(日)古代体験まつり 12月3日(土)ナイトミュージアム2022 「夜の博物館でリアル脱出ゲーム2」 12月17日(土)キッズミュージアム短期プログラム「古代の生活体験2022・冬」 2月26日(日)MYおひな様・組みひもストラップづくり</p>
発掘調査	県内遺跡発掘調査10月～3月

★第1展示室閉室日 令和4年9月27日(火)～10月7日(金)

★日程未定については、決まり次第HPやTwitter、館内配布チラシ等でお知らせします。また、内容・開催期間は変更することがあります。詳しくはお問い合わせください。

<p>求 普 提 資 料 館</p> <p>〒828-0085 豊前市大字烏井畑 247 TEL・FAX 0979-88-3203</p>	<p>常 設 展：「求菩提修験道の世界」 秋の企画展：10月22日(土)～11月27日(日)「瀧蔵坊～信仰と生活～」 早春企画展：1月28日(土)～3月21日(火)第16回「おひなまつり」 史跡ガイド活動：申し込みに応じて豊前市内の史跡をガイドします。</p>
<p>甘 木 歴 史 資 料 館</p> <p>〒838-0068 朝倉市甘木 216-2 TEL・FAX 0946-22-7515</p>	<p>常 設 展：第一展示室「朝倉の民俗・歴史資料」第二展示室「朝倉の考古資料」 秋季企画展：10月22日(土)～12月18日(日)史跡杷木神籠石国指定50周年記念「杷木神籠石と古代山城」 企画展講座：①10月23日(日)②11月27日(日)③12月11日(日) シンポジウム：12月4日(日)「杷木神籠石と古代山城」 特 集 展 示：1月8日(日)～3月5日(日)「ものの歴史① アイロン」 パ ネ ル 展：12月20日(火)～4月30日(日)「朝倉の指定文化財part2-史跡編②-」</p>
<p>柳 川 古 文 書 館</p> <p>〒832-0021 柳川市隅町 71-2 TEL 0944-72-1037 FAX 0944-72-5559</p>	<p>企 画 展：9月29日～11月27日「柳河藩ゆかりの刀剣」 12月1日～2月5日「近世立花家の歴史編纂(仮)」 2月11日～3月31日「松井家・立石家のおひな様」</p> <p>講 座：古文書解読講座(初級編・中級編・応用編)毎月1回(第4日曜日) 11月3日(木)市史講座(事前申込・定員40名) 1月28日(土)歴史文化講演会</p>

※各館の行事や休館日(閉室)等については、各館ホームページまたは直接お問い合わせください。



九州歴史資料館

KYUSHU HISTORICAL MUSEUM

〒838-0106 福岡県小郡市三沢 5208-3

TEL 0942-75-9575 FAX 0942-75-7834

URL [https:// kyureki.jp/](https://kyureki.jp/)

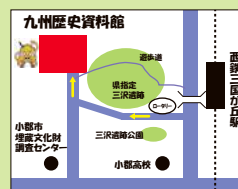


ホームページ



ツイッター

開館時間 午前9時30分～午後4時30分(入館は午後4時まで)
観 覧 料 一般210(150)円 大学生・高校生150(100)円
満65歳以上・中学生以下・
障がいのある方(同伴介護者1名)無料
※土曜日は高校生も無料
※()内は団体料金(20名以上)
休 館 日 月曜日(ただし祝日・振替休日の場合はその翌日)
年未年始(12月28日～1月4日)



●公共交通機関

- 《西鉄電車》天神大牟田線三国が丘駅から徒歩で約700m
- 《JR》鹿児島本線原田駅からタクシーで約10分
- 《小郡市コミュニティバス》東野・美鈴が丘ルート「九州歴史資料館」下車
西鉄三国が丘駅西口から約3分
(9時57分・15時9分)日曜日・祝日運休

●自動車

- 《九州自動車道》筑紫野I.C.から鳥栖筑紫野道路経由で約15分
- 《大分自動車道》筑後小郡I.C.から国道500号線・県道88号線経由で約15分
- 《福岡都市高速》水城出口から国道3号線経由で約25分

